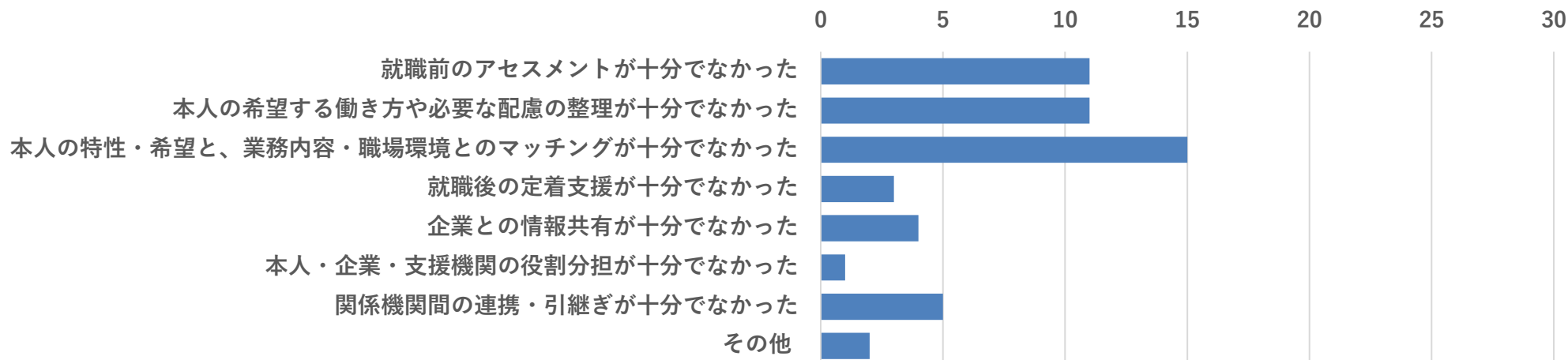


区市町村障害者就労支援センターアンケート調査（速報値）

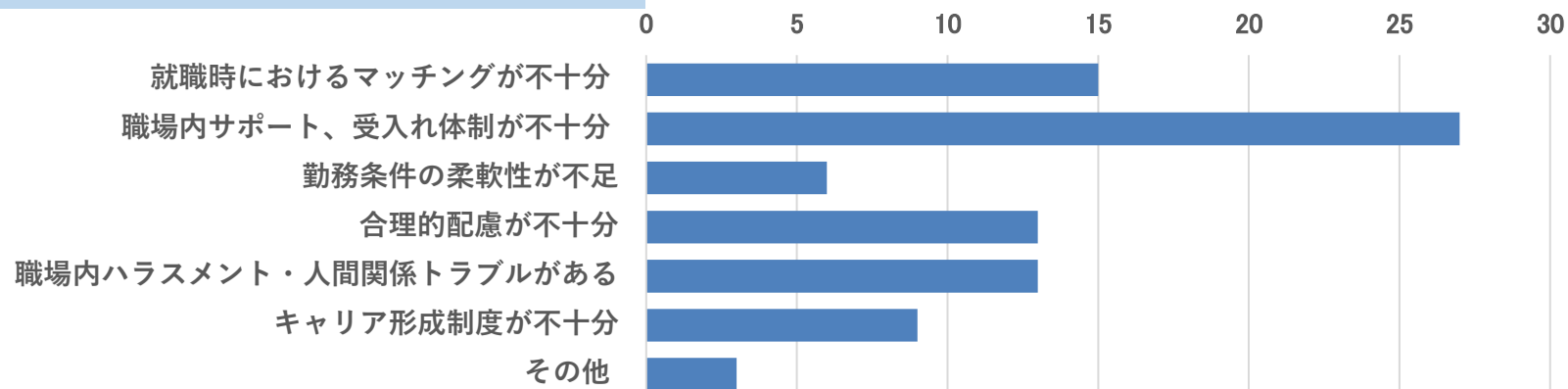
（１）令和７年度中に離職したケースについて

(n = 49)

1 支援機関側に課題があった場合の内容（複数回答可）



2 企業側に課題があった場合の内容（複数回答可）



3 利用者に対する支援について、工夫点や効果がある取組、望まれる仕組み等（主な意見）

- 定期面談の他、LINEで相談しやすい環境を整備し、問題の早期発見につなげる
- 就職前後の十分なアセスメントと、採用前実習は有用
- 就労前から生活面のサポート体制（福祉サービスや相談支援、医療機関等の活用）
- 「起きる前に未然に防ぐ」「起きた事象に対し振り返りをする」支援スタンスは効果あり

4 企業に対する支援について、工夫点や効果がある取組、望まれる仕組み等（主な意見）

企業への取組への支援

- ・ 定期的な情報共有や職場訪問を通じた予防的支援
- ・ 現場担当だけでなく人事担当との定期的な関わり
- ・ 障害者を雇用する企業における全社員対象の研修（障害特性や配慮点等）
- ・ 業務切り出しの提案、短時間雇用制度の周知・活用

他機関連携

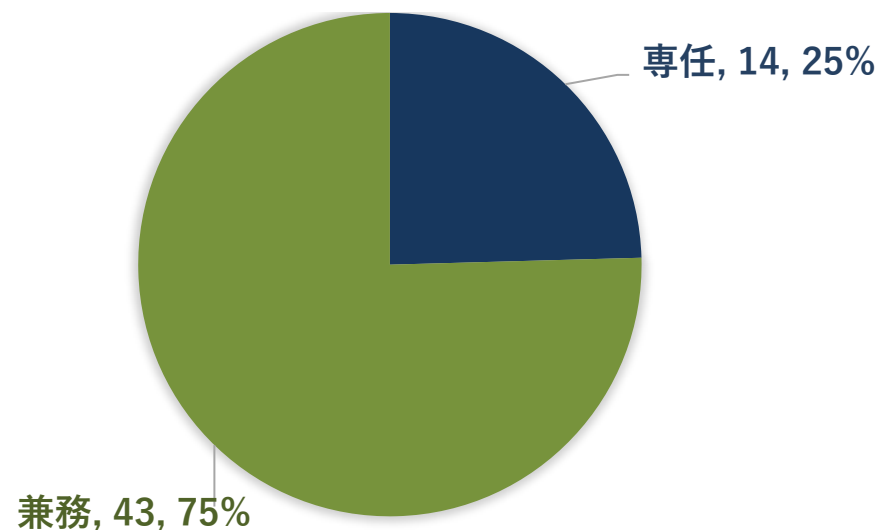
- ・ ジョブコーチ活用は、業務状況や必要な配慮を明確にでき課題改善に効果がある
- ・ ハローワーク等の公的機関と連携した取組（訪問・指導等）

職員体制

- ・ 企業で雇用管理経験のある職員がおり、企業側の視点でも支援ができ有益
- ・ 地域開拓促進コーディネーターは、企業分析・営業・マッチング能力など高いスキルを求められるが非常勤であることが多い

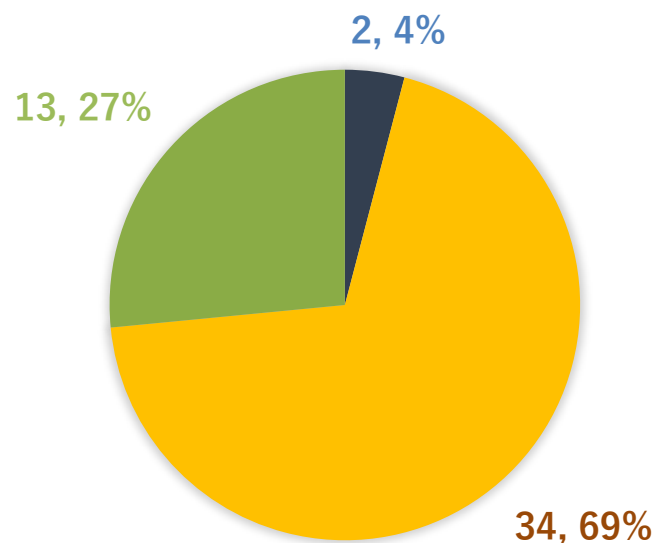
(2) 地域開拓促進コーディネーターや、企業の新規開拓の状況等について

1 地域開拓促進コーディネーターの配置



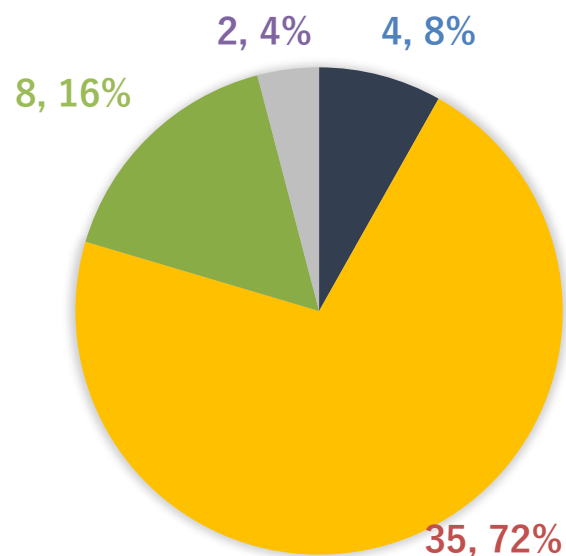
■地域開拓促進コーディネーターは、就労希望者を積極的に掘り起こしていくとともに、企業側に対する障害者雇用へのアプローチを行っていく。

2 新規開拓の状況（大企業）



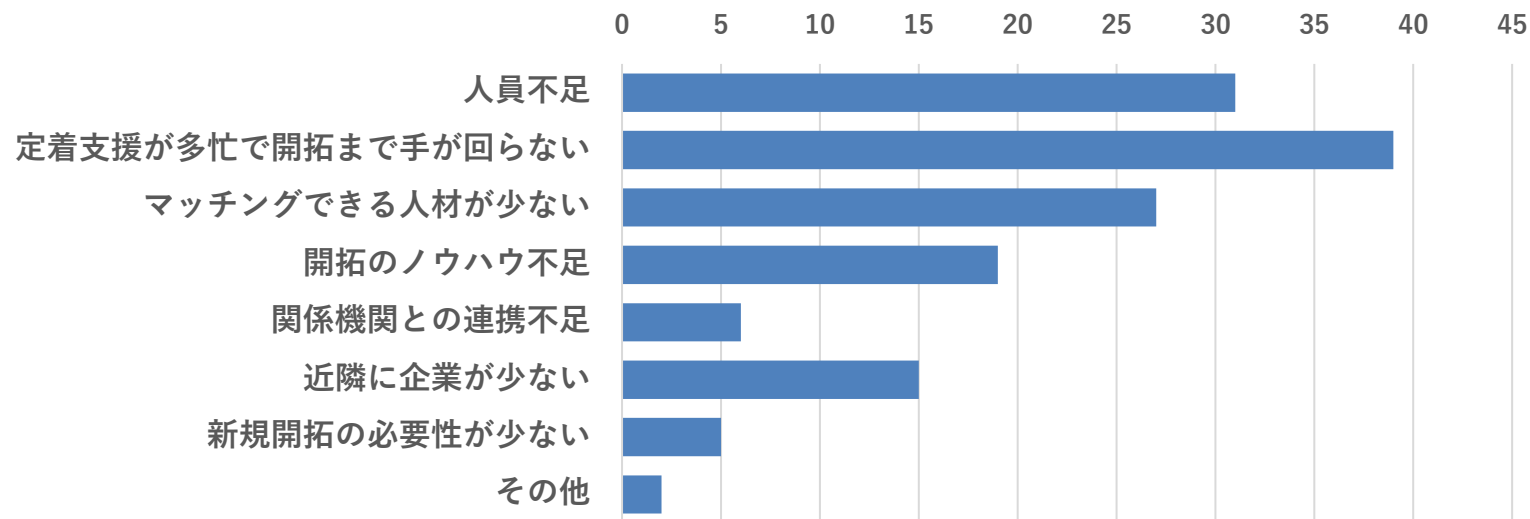
- 積極的に新規開拓を行っている
- 相談等（求人要望等）があった際は対応している
- 定着支援等で手一杯で新規開拓の業務に手が回らない

3 新規開拓の状況（中小企業）

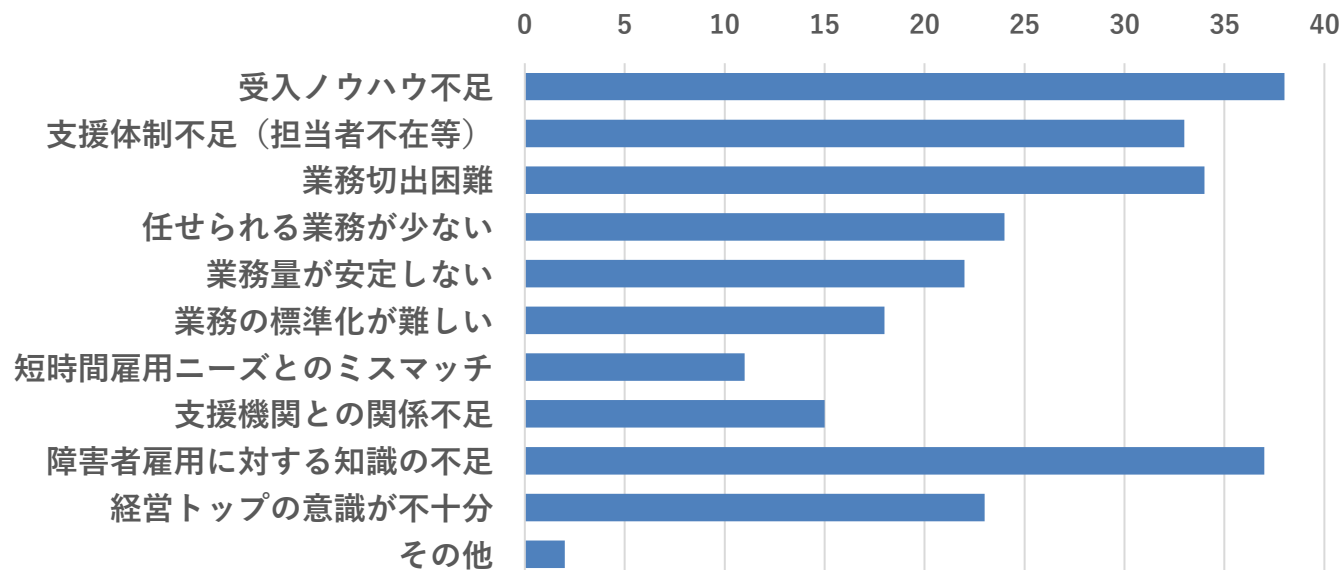


- 積極的に新規開拓を行っている
- 相談等（求人要望等）があった際は対応している
- 定着支援等で手一杯で新規開拓の業務に手が回らない
- その他

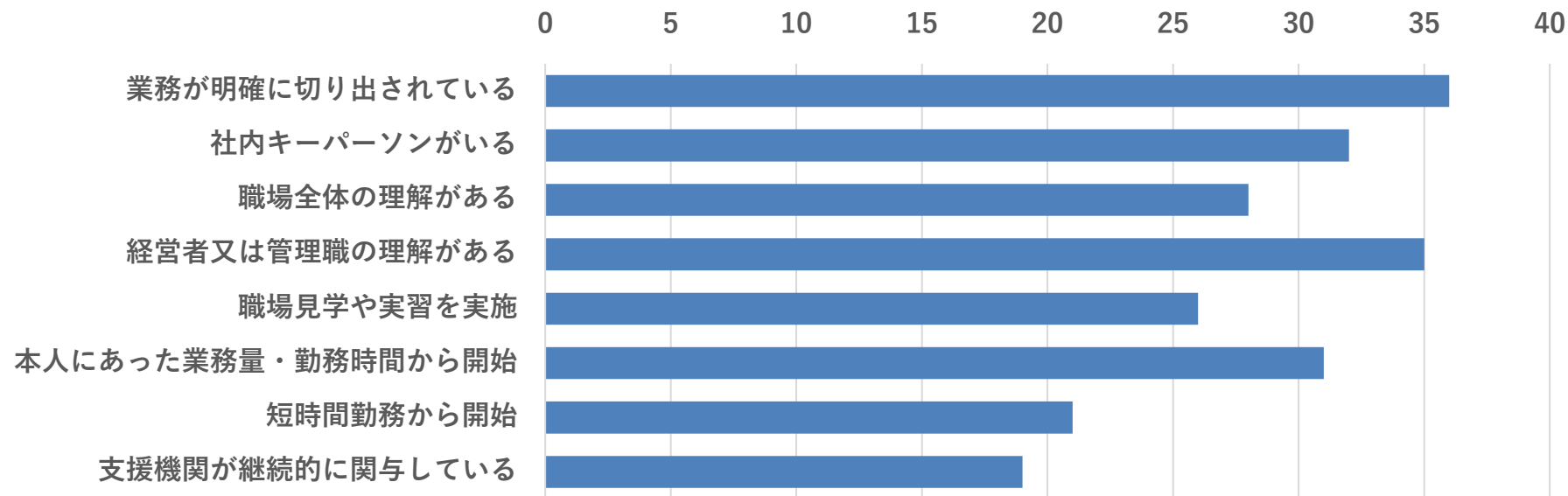
4 中小企業への新規開拓が進まない就労支援センター側の理由（複数回答可）



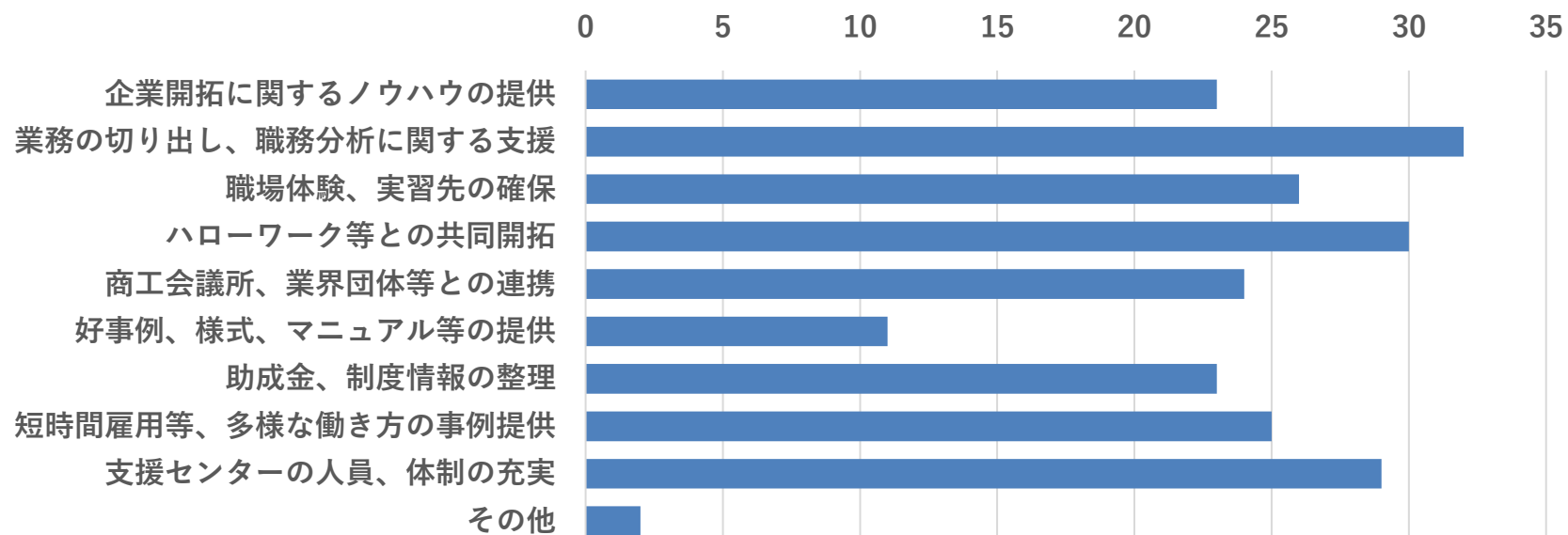
5 中小企業への新規開拓が進まない企業側の理由（複数回答可）



6 中小企業での雇用がうまくいった事例の特徴（複数回答可）



7 中小企業への新規開拓を進めるために必要なこと（複数回答可）



8 特別支援学校から就労支援センターへの引継での工夫点、うまくいっている取組等（複数回答可）

